

平成29年12月6日

報道関係者 各位

平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰
および温泉総選挙2017部門賞受賞について

標記の件について、別紙のとおり受賞しましたので、お知らせします。

記

1. 地球温暖化防止活動環境大臣表彰
・受賞概要 別紙のとおり
2. 温泉総選挙2017
・受賞概要 別紙のとおり

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市しまばら観光おもてなし課
(地球温暖化防止活動環境大臣表彰：濱部)
(温泉総選挙2017：宇治野)
電話：0957-63-1111 (内線212)
E-mail：kanko@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

平成29年12月6日

報道関係者 各位

平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰の受賞について

環境省では、平成10年度から地球温暖化対策を推進するための一環として、毎年、地球温暖化防止月間である12月に、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、その功績をたたえるため、地球温暖化防止活動環境大臣表彰を行っている。

今年度は、5部門で募集があり、①技術開発・製品化部門8件、②対策技術先導導入部門9件、③対策活動実践・普及部門13件、④環境教育活動部門7件、⑤国際貢献部門3件が受賞した。

- 1 受賞名 平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰
- 2 部門 対策技術先導導入部門
- 3 日時 12月4日(月) 13時00分～
- 4 会場 イイノホール&カンファレンスセンター
(東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4階ホール)
- 5 受賞概要

「島原市温泉給湯所における温度差エネルギー高度複合システム実証事業」

市が所有する温度の低い源泉において、これまでは3基の灯油ボイラーにて加温していたシステムを、民間工場からの排湯を熱源とするヒートポンプ方式に変更し、民間と公共が連携した高度な複合熱利用システムを構築した。

宝酒造株式会社島原工場から出る60℃の排湯を約2.7kmの送湯管によって温泉給湯所まで移送し、これを熱源としたヒートポンプシステムにより30℃の温泉を加熱して65℃として、市内の温泉利用者に配湯している。新システム導入前の灯油ボイラー使用時と比較して年間でエネルギー消費量(原油換算)65%削減、CO2排出量約1,001トン、68%削減、エネルギーコスト73%削減を実証した。

担当：島原市産業部しまばら観光おもてなし課
温泉・観光施設班 担当 内藤・濱部・田中
電話：0957-63-1111 (内線213)
E-mail：kanko@city.shimabara.lg.jp

温泉総選挙2017の概要と投票結果について

7月1日～10月31日で実施された温泉総選挙2017の概要と投票結果について、以下のとおりお知らせします。

記

1. 投票期間 平成29年7月1日 ～ 平成29年10月31日
2. 主 催 うるおい日本プロジェクト
3. 選挙概要

「温泉総選挙2017」とは環境省・観光庁・経済産業省・内閣府が後援する、温泉地の活性化を推進する国民参加型の地域活性化プロジェクト。全国の温泉地がそれぞれの魅力や自慢をアピールするため、9つの部門から3部門を選択してエントリー、83の温泉地がエントリーした。

公式ホームページ等からお気に入りの温泉地に投票する方式で、7月1日～10月31日の期間で実施され、島原温泉は「歴史・文化部門」で1位となった。

12月4日、東京都内にて表彰式が開催され、部門賞9部門の各1～5位、特別賞と省庁賞を受賞した全国の自治体が参加した。

4. 投票結果

【部門賞（各1位）】

- ・歴史・文化部門 島原温泉
- ・リフレッシュ部門 南紀白浜温泉
- ・うる肌部門 油谷湾温泉
- ・ファミリー部門 南紀白浜温泉
- ・絶景部門 妙高高原温泉郷
- ・スポーツ・レジャー部門 湯原温泉郷
- ・女子旅部門 長良川温泉
- ・健康増進部門 妙高高原温泉郷
- ・外国人おもてなし部門 大歩危・祖谷温泉郷

※外国人おもてなし部門の第2位は雲仙温泉

【特別賞】

嬉野温泉、箱根十七湯、原鶴温泉、いわき湯本温泉、伊香保温泉、別府八湯、玉造温泉

【省庁賞】

観光庁長官賞 城崎温泉、地方創生担当大臣賞 四万温泉、環境大臣賞 高湯温泉